

出席者 大槻教育長、深堀職務代理者、西家教育委員、久米教育委員、中西教育委員、小谷教育委員

教育委員会事務局 辻教育次長、東部長、上田指導監、鍛冶次長、佐々木室長、阪下室長、西角室長、大内課長、仲谷課長、岩井課長、永井課長、隅埜所長、樋上課長、福元主幹

	議題	要旨
案件 1	(仮称) 槇尾学園の開校に向けた今後の取組について	○(仮称) 槇尾学園の概要 施設一体型義務教育学校:義務教育 9 年間を見通した 1 年生から 9 年生までが同じ校舎で学ぶ学校であり、1 年生入学時に入学式、9 年生修了時に卒業式を実施する。義務教育課程を貫く柔軟なカリキュラム編成のもと、学校教育の多様化や弾力化に対応ができる 特認校制度:市内全域から就学可能。特認校制度にて就学を希望する児童生徒の令和 7 年度向けの募集をすでに行っており、定員に達している学年もある 学級編制:各学年 2 学級、1 学級 20 人程度の学級編制(学年の児童生徒数が、府費負担教員の定数に満たない場合は、市費負担教員を配置) 槇尾学:地域の歴史、文化、産業、観光などの調べ学習や地域交流、炭焼きなどの文化継承を通して、地域の魅力、課題を体験、分析する学習に取り組む 英語学習:文部科学省認可の授業時数特例校として、他の学校より外国語活動・英語の授業時数を多めに設定し、コミュニケーションに重点を置いた英語学習を展開 部活動:教職員のみによる運営ではなく、学校・家庭・地域・各種団体が協働・連携した運営体制の整備をめざす アフタースクール:令和 7 年度は、放課後に下校せずにそのまま学校の施設を使い、有償で「英会話プログラム」を実施予定 通学手段:特認児童生徒は有償のスクールバス、保護者の送迎等、地元の児童生徒は、徒歩、無償のスクールバス等を利用 ●委員の意見 ・ファーストステージ(1~4 年生)、セカンドステージ(5~7 年生)、ファイナルステージ(8・9 年生)それぞれの課程の接続が上手いくかは、セカンドステージが鍵だと思う。先行事例も参考にしながら取り組んでいただきたい ・小学校 6 年・中学校 3 年制の課程で学んできた児童生徒が転入してきた場合の対応も、配慮が必要だと思う

案件 2	万博無料招待事業への対応について	・児童生徒数の増減や社会情勢の変化に伴う保護者や児童生徒のニーズに対応した学校運営ができるよう、保護者や地域の方と密にコミュニケーションを取っていただきたい ・市全体で、もう少し（仮称）槇尾学園の PR をしてはどうか ○無料招待の概要 ・令和 7 年 4 月 1 日時点で 4 歳～17 歳の和泉市民が対象 ・大阪府からの学校を通じた無料招待とは別に、和泉市からの無料招待も予定している ○大阪府から示されていること ・家庭環境に関わらず、子どもたちに来場機会を提供できるよう、学校での校外学習という形で招待 ・無料招待は入場料のみで、交通費は家庭負担 ・モデルプランでは 4 時間程度の滞在を想定 例) パビリオン見学 1 時間、昼食 1 時間、展示・ステージ見学 2 時間 ※パビリオンや展示内容の詳細は不明 ○学校現場における懸念事項 ・熱中症対策、災害対策、メタンガス対策等 ・見学・体験内容等が不明 ・会場までのバスの確保、費用負担 ・下見時期や当日の休憩場所等が不明 →全校参加の方向で考えているが、上記のような懸念事項が多数あるため、市教委として校長と意見交換をしながら対応を検討する ○今後の検討 ・「ふるさと元気寄附」を活用したバス代の支援 ●委員の意見 ・各学校の事情に応じて判断することが必要 ・安全面をしっかりと考えていただきたい
案件 3	令和 6 年度 全国学力・学習状況調査結果について	○成果 ・小中学校ともに正答率（対府比）が昨年度より大幅に向上 ・小学校国語においては、大阪府平均を上回った ・無解答率（対府差）が改善 ・小学校の記述式問題の正答率（対府比）が向上

案件 4	令和 6 年度 第 3 回和泉市総合教育会議について	○今後の取組 ・授業改善の継続 ・4 層プランに基づく取組を継続 ・学校として、マストとチョイスの取組の明確化と取組の実施の徹底 ・各学校で結果分析を行い、成果・課題を明らかにするとともに、課題改善に向け、今行っている取組の見直しと修正 ・GIGA 端末の効果的な活用 ●委員の意見 ・学校別にしっかりと分析のうえ、市として学校現場へ具体的に分かりやすい助言が必要 ・成果が出ている取組（全学年ミニ学調等）は他の学校でも展開し、今後、分析するうえでの 1 つの指標にしていきたい ○第 2 回和泉市総合教育会議のふり返り（GIGA 端末更新の部分のみ） ・GIGA 端末の第 2 期の調達については、大阪府による共同調達にて対応することとなっており、金額に差がほとんどないことから、今回の調達は、今後どのような学びを展開したいか、学びの姿を考えて選定する ・現在、Windows、Google Chrome、iPad それぞれの OS の情報の収集と整理をしている ・8 月 29 日に大阪府の作業部会が予定されているため、その内容を踏まえ、9 月 19 日の第 3 回和泉市総合教育会議では、事務局としてどの OS で考えているか、一定の方向性を提示できる予定 ○学校教育情報化推進計画（案） ・学校教育の情報化の推進に関する法律（令和元年公布・施行）の第 9 条において、地方公共団体は学校教育情報化推進計画の策定が努力義務 ・和泉市内の学校教育の情報化に関する基本的な方針や施策の方向性を示すため、今年度中に策定予定 ・「授業がしやすい、受けやすい ICT 教育環境づくり」、「こどもたちの学力向上、資質向上につながる教材の提供」、「時代を先取りした授業スタイルの教員への助言、ICT が不得意な教員への支援」、「教員の働き方改革に資する展開」の 4 つの観点で計画を整理
-------------	-----------------------------------	--